

国土交通省 第4版 生産性革命プロジェクト



目次

いま、なぜ、「生産性革命」なのか P. 01

国土交通省「生産性革命」の経緯 P. 02

I : 経済界における生産性向上の取組と国土交通省への期待

日本経済団体連合会 中西宏明 会長 P. 04

日本商工会議所 三村明夫 会頭 P. 05

II : 生産性革命プロジェクト31

◆ 「社会のベース」の生産性を高めるプロジェクト

01 ピンポイント渋滞対策 P. 07

02 高速道路を賢く使う料金制度 P. 08

03 クルーズ新時代の実現 ~訪日クルーズ旅客500万人の目標実現に向けて~ P. 09

04 コンパクト・プラス・ネットワーク ~密度の経済で生産性を向上~ P. 10

05 不動産最適活用の促進 P. 11

06 インフラメンテナンス革命 ~確実かつ効率的なインフラメンテナンスの推進~ P. 12

07 ダム再生 ~地域経済を支える利水・治水能力の早期向上~ P. 13

08 航空インフラ革命 ~空港と管制のベストミックス~ P. 14

09 官民ボーダーレスの都市空間創造★ P. 15

10 河川空間活用イノベーション ~未利用空間の活用による生産性向上~★ P. 16

11 地方創生回廊中央駅構想 ~新大阪が、日本の地方と地方をつなぐ~★ P. 17

◆ 「産業別」の生産性を高めるプロジェクト

12 i-Constructionの「深化」×Open Innovation P. 18

13 攻めの住宅ストックビジネスの推進 P. 19

14 i-Shippingと j-Ocean ~「海事生産性革命」強い産業、高い成長、豊かな地方~ P. 20

15 物流生産性革命 ~効率的で高付加価値なスマート物流の実現~ P. 21

16 道路の物流イノベーション ~トラック輸送の生産性向上~ P. 22

17 観光産業の革新 ~観光産業を我が国の基幹産業に~ (宿泊業の改革) P. 23

18 下水道イノベーション ~“日本産資源”創出戦略~ P. 24

19 鉄道生産性革命 ~次世代技術の展開による生産性向上~ P. 25

| | | |
|----|-----------------------|----------------|
| 20 | タクシー・バスにおける生産性・利便性向上★ | ・・・・・・・・ P. 26 |
| 21 | 我が国を支える内航海運の未来創造★ | ・・・・・・・・ P. 27 |
| 22 | 港湾の国際競争力強化★ | ・・・・・・・・ P. 28 |

◆ 「未来型」投資・新技術で生産性を高めるプロジェクト

| | | |
|----|--|----------------|
| 23 | ビッグデータを活用した交通安全対策 | ・・・・・・・・ P. 29 |
| 24 | 「質の高いインフラ」の海外展開 ～巨大市場を日本の起爆剤に～ | ・・・・・・・・ P. 30 |
| 25 | クルマのICT革命 ～自動運転 × 社会実装～ | ・・・・・・・・ P. 31 |
| 26 | 気象ビジネス市場の創出 ～気象データの利活用促進～ | ・・・・・・・・ P. 32 |
| 27 | 公共交通分野におけるオープンデータ化の推進★ | ・・・・・・・・ P. 33 |
| 28 | 官民連携データ活用によるモビリティサービスの強化 ～ETC2.0のオープン化～★ | P. 34 |
| 29 | オープンなG空間社会基盤の構築 ～地理空間情報は新産業創出の礎～★ | ・・・・・・・・ P. 35 |
| 30 | 海洋情報革命 ～海洋ビッグデータ利活用によるスマートな海洋立国の推進～★ | ・・・・・・・・ P. 36 |
| 31 | 航空イノベーションの推進★ | ・・・・・・・・ P. 37 |

★は、平成30年5月に新たに追加したプロジェクト

いま、なぜ、「生産性革命」なのか

我が国は、現在、人口減少社会を迎えています。潜在的な成長力を高めるとともに、新たな需要を掘り起こしていくため、働き手の減少を上回る生産性の向上等が求められています。また、産業の中長期的な担い手の確保・育成等に向けて、働き方改革を進めることも重要であり、この点からも生産性の向上が求められています。

社会全体の生産性を高め、人々の成長期待を高めることができれば、企業の設備投資や賃上げ、さらには個人消費の拡大が促されます。これが一時的な需要の喚起にとどまらない持続的な経済成長につながり、さらにその成果が働く人に分配されることによる好循環が期待されます。

こうした観点から、国土交通省では、平成28年を「生産性革命元年」と位置付け、同年3月に「国土交通省生産性革命本部」を設置しました。先進的な取組として20の「生産性革命プロジェクト」を選定し、平成29年を生産性革命「前進の年」として、これらのプロジェクトの更なる具体化に取り組んできました。

さらに、平成30年を「深化の年」と位置づけ、これまでの取組を更に具体化・強化するとともに、「小さなインプットでもできるだけ大きなアウトプットを生み出す」という生産性革命の基礎にある考え方をあらゆる政策分野に浸透させる方針です。

今般、「深化の年」の取組として、新たに11のプロジェクトを追加しました。今後、「生産性革命プロジェクト31」の各施策の更なる深掘りに努めていきます。

「社会のベース」の生産性を
高めるプロジェクト

「産業別」の生産性を
高めるプロジェクト

「未来型」投資・新技術
で生産性を高める
プロジェクト

国土交通省「生産性革命」の経緯

平成28年 <生産性革命元年>

- 3月7日 国土交通省生産性革命本部の設置
第1回 国土交通省生産性革命本部
・6つのプロジェクトを選定
(ピンポイント渋滞対策、高速道路を賢く使う料金制度、クルーズ新時代の実現、i-Constructionの推進、住生活産業の新たな展開、ビッグデータを活用した交通安全対策)
- 4月11日 第2回 国土交通省生産性革命本部
・7つのプロジェクトを追加選定
(コンパクト・プラス・ネットワーク、不動産最適活用の促進、i-Shipping、物流生産性革命、道路の物流イノベーション、観光産業の革新、「質の高いインフラ」の海外展開)
- 8月31日 第3回 国土交通省生産性革命本部
・13プロジェクトのフォローアップを実施
生産性革命パンフレット(第1版)公表
- 11月25日 第4回 国土交通省生産性革命本部
・7つのプロジェクトの追加選定
(インフラメンテナンス革命、ダム再生、航空インフラ革命、下水道イノベーション、鉄道生産性革命、クルマのICT革命、気象ビジネス市場の創出)

平成29年 <生産性革命「前進の年」>

- 1月 生産性革命パンフレット(第2版)公表
- 3月30日 第5回 国土交通省生産性革命本部
・20プロジェクトのフォローアップを実施
- 8月31日 第6回 国土交通省生産性革命本部
・20プロジェクトのフォローアップを実施
- 9月 生産性革命パンフレット(第3版)公表

平成30年 <生産性革命「深化の年」>

- 5月29日 第7回 国土交通省生産性革命本部
・11のプロジェクトの追加選定
(官民ボーダレスの都市空間創造、河川空間活用イノベーション、地方創生回廊中央駅構想、タクシー・バスにおける生産性・利便性向上、我が国を支える内航海運の未来創造、港湾の国際競争力強化、公共交通分野におけるオープンデータ化の推進、官民連携データ活用によるモビリティサービスの強化、オープンなG空間社会基盤の構築、海洋情報革命、航空イノベーションの推進)
・20プロジェクトのフォローアップを実施
- 6月 生産性革命パンフレット(第4版)公表